

1. 趣旨

いわゆるコロナ禍と言われる状態になってから2年以上が経過し、学校・保育所・幼稚園・学童クラブ・放課後こども教室（以下、学校・保育所等）に通う園児・児童・生徒においては学校生活や教育活動の中で感染拡大防止対策としてとられてきた対策が、むしろ健康や発育、発達に悪影響を与えているとも言われています。令和4年6月1日、政府の新型コロナ対策分科会の尾身茂会長ら15人の連名による専門家組織は、マスク着用等の過度な感染症対策や学校生活の制限を子供に強いることで、遊びと学びの機会を奪うことがないように求める提言をまとめ、同日厚生労働省に助言する組織「アドバイザリーボード」の会合に提出しました。その中で、過度な感染症対策による学習能力の低下が社会的な損失につながるおそれも指摘し「失われた時間や経験は後から取り返すことはできない」と強調しております。

また、府中市教育委員会のHP上において、5月27日付で、「学校生活における児童・生徒等のマスクの着用の考え方について」の通知が保護者あてに公開されました。その通知の中で「病気や障害等、様々な事情からマスクを着用したくてもできない人がいること。そのため、マスクを外していることをもって、偏見や差別につながるような行為は許されるものではないこと。」と言及されております。しかしながら実際の学校・保育所等の現場においては、マスクを着用しているクラスメート等からのマスク着用を促す言動等により、その同調圧力に苦しんでいる園児・児童・生徒がいることが現実です。また、上記通知を受けて各保護者宛に速やかに周知し全校生徒にその旨の指導をした学校もある一方、周知すらしていない学校もあります。以上の理由により、下記について陳情いたします。

2. 要望事項

- ① 今後、上記教育委員会通知内容が現場の学校・保育所等においても実践される為に、府中市は学校・保育所等への指導を通して、児童・生徒・保護者へその旨を周知徹底して下さい。
- ② 上記通知について、市の広報誌等に掲載するなど、近隣住民や市全体への理解を求めるための働きかけを行ってください。
- ③ 府中市立学校 感染症予防の手引き【新型コロナウイルス感染症】（令和3年9月13日時点）のP14に記載されている「3 学校給食」の「児童・生徒等が対面して喫食する形態を避け、飲食中は会話を控えるよう徹底する。」という部分について、「大声での会話を控える」という文部科学省の衛生管理マニュアルに準じた見直しを検討してください。